

ご挨拶

初夏を迎え、皆様いかがお過ごですか。2020年春以来、「コビットー19」問題は、皆様と共有して参りましたが、本日までぶれる事なく肅々と闘い、今日に至りました。

今後の重要問題は「UBI:ベーシックインカム(最低生活保護金)」即ち、「Qho-nn:キュー ホーン」が郵便配達局員から手渡される日が、目前に迫ってきました。

日本では「マスク装着」と「6回目のワクチン接種」を、今も推し勧める一団がいますが、実は「新型コロナワクチン接種」は「生物兵器」による、第三次世界大戦として、戦時下の殺人武器として使われて来ました。現在、終戦を迎えて、軍事法廷は犯罪者を摘発し、大量逮捕が展開され、犯罪者は軍事法廷「新ニュルンベルク裁判」で裁かれている様です。

実は、第二次世界大戦前は、タイ王国を除くアジア諸国はヨーロッパとアメリカ合衆国の属領にされ、日本軍は諸国解放を掲げて戦いました。しかし、敗戦しましたが、その後、世界諸国は自覚して独立の道を切り開きました。この戦争を通して、恐るべき日本を米国は「信託統治領」として、主権を与えずにアメリカ合衆国の管理体制下に置いてきました。その管理手法は、日本人と似た、在日帰化人を手先や工作員にして「皇室と国家」を専横してきました。

大和民族の愚民化と、人口削減計画は「癌疾病」関連だけでも現在、40万人が死亡し、それ以上であっても、名目を変えて調整する手法は「コビットー19」の死亡者数で見られる様に、魔性サタニスト達の『嘘と騙し』の先天的な「天の邪鬼」精神の通りです。

<人類救済のトランプ大統領、ケネディ大統領一族と、Qアノン聖軍の勝利>

人類滅亡のぎりぎりの危機寸前に、突如、姿を現したのが、「リンカーン大統領」の血筋で、皆様ご存知の「ケネディ大統領のご一族」や、親族で第二次世界大戦の時、ヨーロッパ戦線で、米軍大戦車部隊を指揮し、有名を馳せた「パットン将軍」の息子が、トランプ大統領でした。父親がドイツに進駐軍として滞在中に誕生したトランプ大統領は、2~3歳頃に父親が亡くなり、養父「トランプ氏」に引取られてアメリカ合衆国に移住され、今日に至ったとの事です。

<大和民族主権国家と、世界連邦の時代に突入>

僕が思うに、少年時代は歌謡歌手を目指し、名古屋商科大学から就職を『愛知トヨタ』と、『商社・山善』を選び、山善大阪本社を選択した事が人生を変えました。

そして、健康を壊して勇退し、自宅療養1年6ヶ月後の1975年4月に自然化粧医学会を創業しましたが、実は、大阪より東京に転勤する頃に『山善聖書研究』を設立し、三人の牧師を講師に金曜日、夕方に本社特別会議室で運用し、一方、サイドビジネスで『福音喫茶店』の経営を準備をし、クリスチヤンスタッフも採用していました。

そこに、東京への転勤人事が舞い込み、東京に転勤しましたが、この頃、バブル経済が崩壊し、健康が最悪の事態に悪化して、大阪に舞い戻る事なく今日に至った訳です。

僕は人生に於いて、二者択一の中で、常に神のみ旨をたずねて、決断してきました。『神が人と共に住み、人は神の民と成る』天地創造以来、想像を絶する時代を、今に共に迎える時が参りました。